

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①耐震性の確保を図る整備

【達成状況】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	100.0	100.0
中学校	100.0	100.0
高等学校		
特別支援学校		
幼稚園		

【所見】

平成21年度に実施した県の基準に満たない校舎7棟の耐震診断により、文部科学省が示した耐震基準に満たないことが判明した中学校校舎1棟及び県の基準に満たない校舎4棟について、計画期間中に全て計画どおり耐震補強工事を実施することができた。また、県の基準は上回ったが老朽化が進んでいる校舎2棟の対策を図った。これにより、小・中学校とも本計画期間内に全ての工事が完了した結果、耐震化率100%が達成できた。

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施できた。
<input checked="" type="checkbox"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input checked="" type="checkbox"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

該当する工事はありませんでした

③教育環境の質的な向上を図る整備

【 達 成 状 況 】

<input type="radio"/>	計画どおり実施できた。
<input type="radio"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

耐震基準に満たない小・中学校校舎7棟については、耐震性の確保など安全性を図ると共に、外壁等の老朽改修工事を実施することで、今後も長期間学校施設として使用できるような施設整備を行った。
また、スムーズにアナログ放送からデジタル放送に移行できるように、すべての小中学校において地上デジタル設備工事を実施した。
今後も、児童生徒が快適な教育環境の下学校生活が送れるように学校施設の環境整備を計画的に進めていく。

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達 成 状 況 】

<input checked="" type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input checked="" type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input checked="" type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

該当する工事はありませんでした

2 事後評価の時期及び方法について

平成24年11月8日に外部有識者で構成されている「藤枝市まちづくり交付金評価委員会」において、施設整備計画に基づく事業実施状況の報告及び事後評価を実施した。これら事後評価については、藤枝市ホームページにて公表していく。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

事後評価の総合所見としては、施設整備計画で計画していた事業については、全て計画どおり実施できた。評価委員会より「綿密な計画のもと耐震補強工事を実施したことで授業等に支障が出ず完成が図られたこと、また耐震補強工事と併せて外壁等の老朽改修工事を実施したことで長期間学校施設としての使用が可能になったことも評価に値する。今後も引き続き老朽改修対策を進めることを要望する。」以上の意見を踏まえて、今後の施設整備計画を作成する際の参考としたい。